



ディレクトリ ハンドラの管理

ディレクトリ ハンドラは、メールボックスを持つ Cisco Unity Connection ユーザに発信者がアクセスする際に使用できる、宛先検索サービスを提供します。発信者がユーザの名前または名前の一部による検索を行う場合、ディレクトリ ハンドラは内線番号を調べ、その通話を該当するユーザに経路指定します。

各ディレクトリ ハンドラには、名前の検索方法、1 つまたは複数の一致が見つかったときの処理、および発信者の入力が見つからないときの処理を指定する設定が含まれています。

次の各項を参照してください。

- [概要：デフォルトディレクトリ ハンドラ \(P.7-2\)](#)
- [ディレクトリ ハンドラの作成 \(P.7-3\)](#)
- [ディレクトリ ハンドラの修正 \(P.7-4\)](#)
- [電話言語設定の変更 \(P.7-5\)](#)
- [複数のディレクトリ ハンドラ検索の提供 \(P.7-5\)](#)
- [音声ディレクトリ ハンドラへのコールのルーティング \(P.7-6\)](#)
- [ディレクトリ ハンドラの削除 \(P.7-7\)](#)

概要：デフォルト ディレクトリハンドラ

Cisco Unity Connection には、システム ディレクトリ ハンドラというデフォルト ディレクトリ ハンドラがあらかじめ設定されています。このディレクトリ ハンドラは修正可能ですが削除はできません。デフォルトでは、このディレクトリ ハンドラはシステム上にメールボックスを持つすべてのユーザを、姓、名の順で検索するように設定されています。システム ディレクトリ ハンドラは、電話タイプのディレクトリ ハンドラです。デフォルトの音声タイプのディレクトリ ハンドラはありません。

デフォルト設定では、ガイダンス コールハンドラのグリーティングを再生している間に発信者が4を押すと、デフォルト ディレクトリ ハンドラがアクセスされます。

ディレクトリハンドラの作成

ロケーションやサーチスペースなど、使用可能なフィルタを使用して、通話をユーザに転送するためのディレクトリハンドラを必要な数だけ作成できます。電話ディレクトリハンドラと音声ディレクトリハンドラの両方を同じシステム上に作成し、ユーザを複数のディレクトリハンドラに登録することができます。

音声ディレクトリハンドラを作成するには、音声認識オプションが必要です。

ディレクトリハンドラはグリーティングを持たないため、コールハンドラまたは短縮ダイヤルを使用して発信者をディレクトリハンドラに転送し、コールハンドラグリーティングを使用して各ディレクトリハンドラに対する発信者の操作を説明することをお勧めします。

ディレクトリハンドラを作成する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[**コール管理 (Call Management)**] を展開し、[**ディレクトリハンドラ (Directory Handlers)**] をクリックします。

ステップ 2 [ディレクトリハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、[**新規追加 (Add New)**] をクリックします。

ステップ 3 [ディレクトリハンドラの新規作成 (New Directory Handler)] ページで、ディレクトリハンドラの表示名を入力します。ディレクトリハンドラの内線番号を入力することもできます。



(注) アスタリスク (*) の付いたフィールドは必須フィールドです。

ステップ 4 音声対応のディレクトリを作成するには、[**音声を有効にする (Voice Enabled)**] チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [**保存 (Save)**] をクリックします。

ステップ 6 [ディレクトリハンドラの基本設定の編集 (Edit Directory Handler Basics)] ページで、引き続きディレクトリハンドラの設定を入力します。フィールドの詳細については、[ヘルプ (Help)] メニューの [**ページ上 (This Page)**] をクリックしてください。

ステップ 7 [ディレクトリハンドラの編集 (Edit Directory Handler)] ページで設定を入力し終わった後、[**保存 (Save)**] をクリックします。

ステップ 8 [編集 (Edit)] メニューの [**発信者入力 (Caller Input)**] をクリックして、必要な設定を新しいディレクトリハンドラに追加していきます。

ステップ 9 [発信者入力 (Caller Input)] ページでいずれかの設定を変更した場合は、ページを移動する前に [**保存 (Save)**] をクリックします。

ディレクトリハンドラの修正

ディレクトリハンドラを修正する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[コール管理 (Call Management)] を展開し、[ディレクトリハンドラ (Directory Handlers)] をクリックします。
- ステップ 2** [ディレクトリハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、修正するディレクトリハンドラの表示名をクリックします。



(注) 修正しようとするディレクトリハンドラが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドに必要なパラメータを設定して、[検索 (Find)] をクリックします。

- ステップ 3** [ディレクトリハンドラの基本設定の編集 (Edit Directory Handler Basics)] ページで、必要な設定を変更します。フィールドの詳細については、[ヘルプ (Help)] メニューの [ページ上 (This Page)] をクリックしてください。
- ステップ 4** [ディレクトリハンドラの編集 (Edit Directory Handler)] ページで設定を変更し終わった後、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 5** [発信者入力 (Caller Input)] ページで設定を変更するには、[編集 (Edit)] メニューの [発信者入力 (Caller Input)] をクリックします。
- ステップ 6** [発信者入力 (Caller Input)] ページでいずれかの設定を変更した場合は、ページを移動する前に [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話言語設定の変更

各ディレクトリハンドラで、前のコールハンドラによって、またはコールルーティングによって適用された言語を使用するかどうかを指定できます。

ディレクトリハンドラの電話言語設定を変更する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、必要な [ディレクトリハンドラ (Directory Handler)] ページに移動します。
 - ステップ 2** [ディレクトリハンドラの編集 (Edit Directory Handler)] ページに移動します。
 - ステップ 3** [言語 (Language)] リストで、[システムのデフォルト言語を使用 (Use System Default Language)] または [発信者から言語を継承する (Inherit Language from Caller)] をクリックするか、いずれかの言語をリストから選択します。
 - ステップ 4** 適切なグリーティングを新しい言語で再録音します。
 - ステップ 5** ページで設定を変更した場合は、ページを移動する前に [保存 (Save)] をクリックします。
-

複数のディレクトリハンドラ検索の提供

複数のディレクトリハンドラの機能を使用すると、多数のユーザを持つシステムにおいてディレクトリ検索を迅速に、効果的に、安全に行うことができます。また、複数のディレクトリハンドラは、Cisco Unity Connection によって通話処理を一元化するように展開された本社および支社で、コールルーティングに使用されます。ユーザは複数のディレクトリハンドラに登録することができます。管理者は、発信者によるユーザ検索を管理するためのディレクトリハンドラを必要なだけ作成できます。

音声ディレクトリハンドラへのコールのルーティング

ディレクトリハンドラはグリーティングを持たないため、コールハンドラまたは短縮ダイヤルを使用して発信者をディレクトリハンドラに転送し、コールハンドラグリーティングを使用して各ディレクトリハンドラに対する発信者の操作を説明することをお勧めします。各ディレクトリハンドラで、前のコールハンドラによって、またはコールルーティングによって発信者に適用された言語を使用するかどうかを指定できます。詳細については、P.7-5の「電話言語設定の変更」を参照してください。

音声ディレクトリハンドラを設定する場合は、次のタスクリストで、Cisco Unified Communications Manager (CM) (旧名称 Cisco Unified CallManager) から Cisco Unity Connection の音声ディレクトリに電話番号をルーティングするように Cisco Unified CM を設定する方法を参照してください。

音声ディレクトリハンドラにコールをルーティングするためのタスクリスト

1. Cisco Unity Connection の管理で、音声タイプのディレクトリハンドラに使用するポートを、新しい回線グループに追加します。
2. その回線グループを新しいハントリストに追加します。
3. そのハントリストを、音声タイプのディレクトリハンドラへのコールがルーティングされる新しいハントパイロットに追加します。
4. Cisco Unity Connection の管理で、音声タイプのディレクトリハンドラにコールをルーティングするように、ポートを設定します。

Cisco Unified CM を設定する方法の詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html で Cisco Unified CM のドキュメントを参照してください。

ディレクトリハンドラの削除

ディレクトリハンドラを削除する場合は、そのディレクトリハンドラへのリファレンスを事前にすべて調べて、削除しておくことをお勧めします。ディレクトリハンドラを削除すると、通話をそのディレクトリハンドラに転送していたコールルーティングやコールハンドラは、通話をシステムディレクトリハンドラに転送するようになります。1つまたはそれ以上のコールハンドラが参照していたディレクトリハンドラを削除する場合は、コールハンドラグリーティングを必ず再録音して、発信者が入力オプションに関する適切な情報を聞けるようにしてください。

ディレクトリハンドラを削除する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[**コール管理 (Call Management)**] を展開し、[**ディレクトリハンドラ (Directory Handlers)**] をクリックします。

ステップ 2 [ディレクトリハンドラの検索 (Search Directory Handlers)] ページで、削除するディレクトリハンドラの表示名をクリックします。



(注) 削除しようとするディレクトリハンドラが検索結果テーブルに表示されていない場合は、ページ上部の検索フィールドに必要なパラメータを設定して、[**検索 (Find)**] をクリックします。

ステップ 3 [ディレクトリハンドラの編集 (Edit Directory Handler)] ページで、[**削除 (Delete)**] ボタンをクリックします。



注意 ディレクトリハンドラを削除する前に、コールルーティングおよびコールハンドラがそのディレクトリハンドラをポイントしていないことを確認してください。削除されるディレクトリハンドラをいずれかのコールハンドラが参照している場合は、それらのコールハンドラのグリーティングを必ず再録音し、その他の設定を必要に応じて変更して、削除されるハンドラに言及している部分を削除します。

ステップ 4 削除するかどうかの確認を求めるダイアログボックスが表示された場合、[**OK**] をクリックします。

■ ディレクトリハンドラの削除